

議員（隅岡 美子）

5番、隅岡美子でございます。

順次一般質問をさせていただきます。

質問は、児童・生徒の持ち物負担軽減について質問をさせていただきます。

文部科学省は3日、通学時の持ち物負担軽減に向け、適切に工夫するよう全国の自治体の教育委員会に求める方針であるとのニュースを聞きました。

近年では、小学校生にとって、ランドセルが重過ぎるという問題がテレビや新聞で特集されるようになりました。

あるテレビでは、小学生が整体院で肩や腰の施術を受け、インタビューに肩が痛いのでと答えていました。

教科書や教材などを入れた子供のランドセルが重いことは、子供の成長期に大変大きくかかわってくると思います。

私は以前、小学1年生のランドセルを後ろから少し持ち上げたところ、大変重かったのを今でも覚えております。

また、改善を求めて多くの声が上がっている中、既に副教材を教室に置いていてもよいとする対応をしている学校も出始めています。

そこでお尋ねをいたします。

2点ほどお尋ねをいたします。

まず1点目です。

多度津町としてのお考えをお伺いいたします。よろしく願いいたします。

教育長（田尾 勝）

隅岡議員の、児童・生徒の持ち物負担軽減についてのご質問にお答えします。

まず、質問があった後に、まず実態を把握しなければいけないということで、実態を把握させてもらって、それに基づいて町としての考えを述べたらいいかなというふうに考えました。

各学校、小学校に対して登下校時の荷物の重さの調査を行いました。

教科書やノート等が入った状態でのランドセルの重さは、1年生で平均3.3キロ、3年生で4.1キログラム、5年生で4.4キログラムでした。

ランドセルの重さは、平均約1.4キロ程度でしたので、1年生でおよそ2キログラムの荷物が入っていることになります。

これは金曜日の調査であります。

また、月曜日の登校時に、手提げかばん等に入れて持ってくる給食エプロンや、体操服、上靴等の重さについては、1年生で平均で1.1キログラム、3年生で1.4キログラム、5年生で1.4キログラムでした。

隅岡議員ご指摘のように、登下校の重過ぎる荷物が子供たちの健やかな発達に

影響を与えかねないという懸念から、町としても当然方針としてはそういう負担がかからないようにということを考えておるわけですが、既に各学校では国語、社会、算数、理科の主要4教科以外の教科書はふだん持ち帰らず、学級で預かっているということでもあります。

また、学校で扱う問題集や資料集、地図帳などの副教材、習字道具とか絵の具セット、裁縫道具もふだんは学校に置いて管理しておるということでもあります。

以上、実態等を踏まえて多度津町としてはこういう状態なので、伝えて、それで9月6日に文部省のほうから通達がありましたので、子供のそういったランドセルによる重いということについての負担軽減については、その文科省の通達を見ながら、できれば軽減していきたいというふうに考えております。

以上、実態と方針についてお話をさせていただきました。

議員（隅岡 美子）

今、教育長のほうから実態等をお話を、ご答弁をいただきました。

私も考えますのに、教科書が重くなった理由の一つに、ゆとり教育の見直しの後ページ数がふえ、一部が大型化したためだと思っております。

ゆとり教育時代に比べ、約35%もページ数がふえていることと言われております。

1年生の中には、体育道具などを含めると、体重の約半分の重さを背負って通学している子供もいると考えます。

専門家は自分の体重の10%から20%以上のものを持つと、体幹などに影響が出ることを警告をしております。

そして、この質問をした経緯は、ある地域のほうで、町民の皆様との対話の中での、ある地域のおばあちゃんに要望いただきまして、うちの孫のランドセルが非常に重くてかわいそうやというて、何とか対策、少しでも軽くなるような対策をしてくださいということに要望をいただいて、今回一般質問をさせていただきました。

今、教育長の中にお話がありましたように、資料集とか、それから副教材などは、裁縫道具も含めまして、ふだんは学校に置いて管理をしておるそうなのですが、学校に管理をしているということは教室の中の後ろの担当箱のことだと思うんですが、そこに置いて帰っているということで、担当箱には鍵はついておりません。

そして、担任のほうにも、そういったところも盗難のおそれがあるので、そういったことも気をつけていただき、また責任を持って声かけとか見守りをしていくのが大事だと私は考えますが、それについての何か講じる対策などはありますか。

ご答弁のほうよろしく願いいたします。

教育長（田尾 勝）

隅岡議員の再質問にお答えします。

ロッカーのことを言われておるんだと思いますが、ロッカー自身には鍵をつけるということは今のところできていません。

だけれども、教室の管理ということで、下校時には教室の施錠はしっかり確認していくということで今現在対応しているということになろうと思います。

議員（隅岡 美子）

ロッカーについては、教室の管理で施錠をきちんとして担任が責任を持っているということのご答弁で、そういうふうに理解をしております。

また、1年生は自分の意識とか、意思ということがなかなか十分とは言えないのではないかなと推察をしますが、これについて保護者側に意見を取りまとめたり、その中で決まったことは自分たちが責任を持って、クラスの子供たちも自分たちで意見をまとめた中で守っていくという意識も高まってくると思っております。

児童がみずから考えて行動していくようになって、忘れ物も減少していくんじゃないかなと私は考えております。

つまり、また質問をいたしますが、児童と保護者にこういった意見などを求めているいただき、それについてのお考えなどをお伺いいたします。

以上です。

教育長（田尾 勝）

隅岡議員の再質問にお答えします。

隅岡議員のほうから、保護者のほうにも協力を依頼してあるいはお話を聞いて進めていくようにということだろうと思うんですけども、隅岡議員ご指摘のように、持ち物の管理については、もちろん学校としては戸締まりを、施錠をして教室の管理をするということなんですけれども、子供一人一人が整理整頓してロッカーの中にきちんとはめるとか、あるいは名前をしっかりと書いておくとかという、持ち物を自分自身が管理するというのを、保護者の方と学校と子供たちと一緒にあって指導していくということが根本に大事なことでないかなというふうに思います。

最近、いろんな先生の話をお聞きすると、やはり持ち物がきちんと置けないとか、管理ができないとか、机の中は少し整理整頓できていないということから紛失の事柄が起きたりということも聞きます。

そういうことも、今後今から教育指導の一つとしてしていかなければならないなというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

先ほどのご答弁の中では、なかなか意見などを集約をしていくということは少し難しいかなという理解をしたんですが、まだ再度質問をさせていただきます。

ちょっと難しいことですかね。

それを私は希望したいんですが。

再度ご答弁をお願いいたします。

教育長（田尾 勝）

隅岡議員の質問にお答えします。

保護者の方々の話を、こうしたことについてのどう対応していくのか、学校としてはこういうふうを考えていってこうしようと思うというような話し合いの場を持って、そのあり方について検討していくということで取り組んでいきたいなというふうに思います。

以上です。

議員（隅岡 美子）

わかりました。

また質問をさせていただきます。

また今現在、幼稚園とかまた保育所等に通っている子供たちも、これから1年生に入学をしてきます。

そういうことも今後いろんなことが懸念をされてきますし、またこのことも大きくかかわってくると考えられます。

またこういったことも踏まえて、対応のほうよろしくをお願いをしたいと思っております。

私も、子供の後ろのランドセルを持ち上げて重いという話は、非常に最近の話であって、5月ぐらいにこういったランドセルが重いという運気が始まる前に要望いただいたときに、ランドセルを後ろから持たせてもらったときに非常に重くて、1年生の体は小さいし、ランドセルの肩にかけるところが小さい体にぐっと重さを感じたものですから、非常に何とかしたいなということで、先ほども答弁にありましたように持ち帰るもの、また置くものということを選択をし先生が学級ごとにまとめておるということで、本当に安心をしたわけでございます。

また、ランドセルが重いということは、私たち議員のほうもしっかりとわかっていかないかなということもありますし、また保護者の方々の理解、また教育委員会の、また教育課の方々の皆様にも、やはり登下校時に実際に現場を見て、子供たちのランドセルの現場を見ていただけたらなと私は強く求めております。

最後になりますが、なかなかできないなというそういったご答弁もありましたが、最低限できることから、また最低限できる範囲で結構ですので、少しでも前に進んでいくように実践をしていっていただきたいなということで、私は切に思っております。

また今後も見守っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思っております。

これは要望でございます。

以上で5番、隅岡美子の一般質問を終わります。

ありがとうございました。